

2026 年 10 月 11 日 (日)

SUPER FORMULA 第 10 戦 予選・決勝

富士スピードウェイ

予選結果

#64 : 8 位

#65 : 1 位

決勝結果

#64 : 12 位

#65 : 15 位

概要

- ・公式予選 Q1 は 2 台揃って Q2 へ。Q2 では佐藤が 8 番手、フラガがトップタイムで 2 戦連続のポールポジション獲得
- ・決勝では、8 番手スタートの佐藤がオープニングラップでポジションを落とし、その後は追い上げを見せたものの、タイヤ交換でもタイムロスがあり 12 位でフィニッシュ
- ・ポールポジションからスタートしたフラガは、タイヤ交換後のバトルで接触を受けてマシンにダメージを負い、15 位でレースを終えた

コメント

総監督：中嶋 悟

「フラガは接触を受け、そこまでの頑張りが報われない結果になってしまいました。佐藤もタイヤ交換でタイムロスがあり、その後もうまく流れに乗れませんでした。手ごたえを感じることができた週末だったので、最終大会となる鈴鹿で、今シーズンの締めくくりとしていいレースをお見せしたいと思います。今大会もたくさんのご声援をありがとうございました」

監督：伊沢 拓也

「予選では、イゴール選手が昨日に続いて素晴らしい走りでポールポジションを獲得してくれましたし、佐藤選手も Q2 に進出し、昨日から見れば復調の兆しが見えたと思います。午前中はいい流れで進められたと感じていました。ただ、決勝ではイゴール選手がスタート直後からペースを上げきれず、苦しい展開となりました。それでもタイヤ交換のタイミング次第ではトップ争いができる状況に持ち込めていましたが、後方からの接触でレースを失う形となってしまいました。佐藤選手はスタートでストール気味となってポジションを落とし、そこから苦しい展開となりました。さらにピット作業でもうまくいらず、佐藤選手には申し訳ないレースになってしまいました。スタートも含めて流れに乗れないレースでしたが、粘っていればチャンスもある展開だっただけに、2 台そろってポイントを獲得できなかったことは非常に残念です。昨日のような完璧なレースを毎回できるわけではありませんが、いいレースができる手ごたえも感じています。最終戦の鈴鹿大会は、2 レースともいい結果で締めくくりたいです」

#64：佐藤 蓮

「昨日の内容を踏まえ、今日の予選に向けてはクルマを大きく変更して臨みました。かなりいい方向に進み、Q1 を突破することができましたが、Q2 ではコンディションの変化に合わせ切れなかった印象です。決勝ではスタートでアンチストールに入ってしまう、原因はしっかり見直さなければいけないと思っています。そこでほぼ最後尾まで下がってしまいましたが、そこからオーバーテイクを重ねて、チャンスのある位置まで戻れたことは良かったです。同じミニマムタイミングでピットに入ったグループのなかでは先頭にいましたが、タイヤ交換でタイムロスがあり、そこで勝負権を失ってしまいました。クルマのポテンシャルには手ごたえがあり、上位を狙える印象もあっただけに残念な結果です。最終戦に向けてしっかり準備し、いい結果でシーズンを締めくくれ

るよう頑張ります」

#65：イゴール・オオムラ・フラガ

「予選では 2 戦連続でポールポジションを獲得できましたが、今日のレースは最初の 10 周ほどペースが上がらず、2 番手、3 番手と順位を落とし、後方からのプレッシャーも受ける展開になりました。ただ、周囲の状況も少し落ち着いたタイミングで、昨日のようなフィーリングが戻ってきたので、そこから自分たちのレースを組み立てていこうと考えていました。タイヤ交換後は太田選手とのバトルになりましたが、ダンロップコーナーで飛び込まれた場面には冷静に対応できたと思っています。それでも GR GT コーナーでは十分にスペースを残したつもりでしたが接触が起きてしまい、避けようのない状況でした。非常に残念です。レースウィーク全体を振り返れば、とてもいいパフォーマンスを示せたと思います。そのなかで今日のレースでポイントを持ち帰れなかったことは悔しいです。最終戦を残すだけとなりましたが、チャンピオンシップを意識しすぎるのではなく、一戦一戦、これまで積み重ねてきたことを最後まで出し切りたいと思います」

※次戦は 11 月 21 日・22 日に鈴鹿サーキットで開催されます。